



# 『We 鏡中』

令和8年 4月16日

## ☆≡ 「地域の方から連絡をいただきました」

4/15 (水) 14:55 頃に地域の方からお電話をいただきました。原にお住まいの方だそうです。4/15 にお電話をいただく少し前のことだそうです『自家用車に荷物を積むのに苦労していたところ、通りかかった中学生の5人組が手伝ってくれた。助かったし、非常にうれしかった。』ということをお電話で話してくださいました。1年生の生徒だったのではないかとおっしゃっていました。

親や教師が見ていないところで、どんな行動ができるようになるかが、成長していく上で非常に大切なことだと考えています。

また、困っている人に「気づき」、どうすればよいかを「考え」、実際に「行動する」ことができていることが素晴らしいです。

こんな行動ができる鏡中生徒が増えていくように指導していきたいです。

## ☆≡ 「こころづかいが見える登校道路の様子でした」

昨年度の学校だより 260227\_30 号でも、地域・保護者の皆様の雨の日の自動車の運転に「こころづかい」が見えて心が温かくなるとお伝えしました。

昨日 4/15 (水) の登校時も雨で登校道路に水たまりが出来ていました。右の写真のように、昨日も水溜まりを避け、中央線よりを歩いていただく自動車が多く、地域・保護者の皆様の「こころづかい」を感じました。本当にありがとうございます。

それと同時に、課題も感じました。

右下の写真がその場面です。小学生が歩道上の水溜まりを避けて車道よりを歩いていました。決して歩道からはみ出ているわけではないのですが、傘の先が車道に出ています。それは上の写真の小学生でも同様です。大人でも自動車を初めて運転した時に車幅がつかめず苦労しますが、小学生は傘の幅まで考慮して歩いているわけではありません。それが悪いことではなく、成長途中の子どもにそれを最初から求めることが無理なことだと思います。その傾向は中学生でも変わりません。

ただ、身を守るためにも、小学生にも中学生にも教えていくことが大切だと考えています。本校生徒には「死ぬな 自分を大切に 他人もたいせつに」と何度も何度も伝えていきます。中学生にも指導しますし、鏡山小学校とも情報を共有し指導します。小学生の兄弟がおられたらご指導をお願いします。保護者の皆様のご協力をお願いします。

